

北九州市立医療センター

研修医 中村 友昭 2014年12月

こんにちは。北九州市立医療センター初期臨床研修医二年目の中村 友昭と申します。

初期臨床研修（地域医療研修）として平成26年12月の一か月間、出水総合医療センターを中心に野田診療所、高尾野診療所、出水保健センター、上場診療所で研修させていただきました。鹿児島市内には数年在住していたことがありましたが出水の地は初めてでした。

初週は野田診療所で内村先生に教えて頂きました。外来と往診が主な業務ですが、心・頸部・腹部エコーや上部消化管内視鏡検査も教えて頂きました。トランスデューサを実際に患者さんに当てて診させて頂き、非常に替え難い経験となりました。午後は患者さんの居宅に訪問診療を行っていて、在宅医療について非常に勉強になりました。

二週目には高尾野診療所で西元寺先生と長谷川先生に教えて頂きました。実際に外来の患者さんを診させて頂いて、外来業務を患者一人当たり比較的短時間で処理しつつも緊急、致命的な疾患を見逃さないことの難しさを実感しました。

出水市保健センターにも一日間お世話になり、母子相談および3歳児健診を見学させて頂きました。母子相談に来ていた子供たちが非常に個性豊かであることに改めて驚きを覚えました。

また、上場診療所での研修もありました。出水市街から自動車ですら30分超の山間にある診療所で、検査設備などもなく、過疎地における医療アクセスの問題に関して考えさせられました。

三、四週目には院内研修で循環器内科にお世話になりました。年末の時期でカテーテル検査は比較的少なかったのですが、一度AMIの患者さんの搬送があり、待機のおよび緊急のカテーテル検査を見学させて頂きました。救急車の病院着からカテーテル室までの搬送が非常に早かったのが印象的でした。

最後になりましたが、一か月間お世話になりました。この一か月間の間に学んだことを将来何かの場で生かしていければと思っております。本当にありがとうございました。